



しらすぎ

目黒区立第八中学校
学校だより NO.18
(通巻62号)
平成26年(2014)
12月22日(月)

『命と人権を考える月間』取組報告(1)

校長 飯野 博史

26日(金)から13日間の冬休みが始まります。短い休みですが、家族で過ごす時間が多いと思います。この一年を振り返ると同時に、新しい年に向けて目標や抱負を話し合ってみてください。また、年末・年始には日本古来の伝統的な風習があります。大掃除、年越しそば、除夜の鐘、初夢、初詣、雑煮、書き初めなど、それぞれに意味があります。日本の伝統や日本人の豊かな発想について考える機会も大切にしてください。

3年生にとっては、進路決定に向けた重要な冬休みとなります。健康に留意して有意義な冬休みとなるよう、3年生の健闘を祈っています。

来年もどうぞよろしくお願いいたします。

12月を「命と人権を考える月間」として、様々な取組をしてきました。

■小・中連携「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」

11月26日(水)、大岡山小5、6年児童代表と八中1、2年生徒代表が集まり「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」を開催しました。主題は「いじめのない学校を目指して」で、副主題として「見えないいじめ」を設定しました。事前に日常生活の中で起こっている「いじめ」の実態について生徒全員からアンケート調査を行いました。そのアンケート結果をもとに、2分科会に分かれて話し合いを進めました。

見えないいじめをなくすために「積極的に声をかけ合う」「いじめがあったら身近な人に相談する」「相談しやすい環境を作る」などの意見が交わされました。

話し合いのまとめとしてそれぞれの分科会から「いじめをなくす行動宣言」を発表しました。行動宣言は以下のとおりです。

《第1分科会》あなたには人を傷つける権利があるのか？

《第2分科会》いじめをなくすため しない心とさせない環境

八中では、12月8日(月)の生徒会朝礼で生徒会役員が「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」の様子を行動宣言とともに全校生徒に報告しました。この行動宣言をもとにさらに各学級で「いじめ」についての話し合いを深め、「いじめ防止スローガン」を作成し、発表し合う予定です。



■ 人権講話「横田めぐみさんの拉致事件」

12月1日（月）全校朝礼時に、校長が人権講話として北朝鮮当局による「横田めぐみさんの拉致事件」について話をしました。拉致事件の概要について話をし、DVD「めぐみ」を視聴しました。拉致の悲惨さや拉致が最大の人権侵害であることを伝えると同時に突然家族を失った悲しみや「家族愛」に焦点を当てて話をしました。みんな真剣に話を聞いていました。生徒の感想文を紹介します。

- ・ 拉致問題のことは耳にしたこともあるし、とても深刻な事件だとは思っていた。しかし、自分が想像していた以上に問題は大きいと感じた。横田さんは、私と同じ年ぐらいのころに、いきなり一人で異国へと連れて行かれた。そう考えると「かわいそう」という一言では済まないなと思いました。また、両親が今も必死に活動しているということを受け、私も他人事とは思わず、少しでも悲しみが分かるように勉強したいと思った。
- ・ 「横田めぐみさんの拉致事件」について詳しく知らなかったけれど、拉致事件というのはその本人だけでなく、家族の人生までも奪ってしまうということが分かりました。そして何の情報もないまま、長い月日がたってしまうのは本当につらいことだし、あってはならないことだと思いました。人権は奪ってはならないということを強く感じました。
- ・ 以前から「横田めぐみさんの拉致事件」についてはテレビで報道されたときに見ていたのを知っていました。しかし、DVDを見て詳細を学ぶことができました。テレビでの報道を見ると、いつも滋さんと早紀江さんが「早く拉致問題を解決して、拉致された人を日本に帰してほしい」と呼びかけています。娘への親の愛情の深さをいつも感じます。拉致問題に早く希望の光がさすことを願っています。
- ・ DVD「めぐみ」を見たり、校長先生の話を知ったりして、私は、横田さん一家の幸せな日々や夢を一瞬にして奪った拉致は絶対に許せないことだと思いました。また、めぐみさんや他の拉致されている人達が早く故郷であるこの日本に帰ってくることを願います。私達もめぐみさんたちのために、力を合わせ心をつにして、間接的にも政府に呼びかけるなど、積極的に動くことが大切だと思います。横田さん一家や他の拉致被害者とその家族が早く再会し、前のような幸せな日々を送れるように、私も同じ日本人として何かをしたいと思います。

■ 人権標語

全校で人権標語づくりに取り組みました。作成した人権標語は各教室の廊下に掲示し、お互いの標語を読み合い、それぞれの願いや思いを確認し合いました。

優秀作品を目黒区総務部人権政策課人権啓発標語作品展に出品しました。優秀作品は以下のとおりです。

- ・ 「どうしたの？」声かけしているよ 友達だから (1年E組)
- ・ てのひらで つつんで伝えてその言葉 (1年A組)
- ・ 無くそうよ 人と人の境界線 (1年B組)
- ・ 「僕」が変われば、「あなた」が変わる「あなた」が変われば、「みんな」が変わる (1年C組)
- ・ いじめる自分の姿 鏡で見てみよう その時君はどう思う？ (2年A組)
- ・ 守ろうよ 手を取りあってみんなの笑顔 (2年B組)
- ・ 考えよう 相手の気持ち 自分の気持ち (2年C組)
- ・ 「違い」を「個性」だと思える、そんな世界を作ろう (3年A組)
- ・ 理解し合える心 未来に残し 黒く狭い心 未来に残すな (3年A組)
- ・ いいのかな 生きる権利がばらばらで (3年B組)
- ・ 一言で 百の笑顔はうばわれる (3年B組)